

川口の教育



【 第71回 全日本中学校通信陸上競技大会埼玉県大会川口市予選会 】

第672号

【目次】

校長会長のあいさつ	市立校長会長（川口市立岸川中学校長）	三浦 伸之 (2)
	小学校長会長（川口市立舟戸小学校長）	駒崎 弘匡 (2)
	川口市立高等学校長	吉野 浩一 (3)
	幼稚園長会長（川口市立舟戸幼稚園長）	須山恵美子 (3)
教育ルポ		 (4)
令和7年度 川口市立学校（園）研究テーマ一覧		 (5)

5 月号
—令和7年—

編集・発行 川口市教育委員会

「改革の年」

川口市立岸川中学校 校長 三浦 伸之



令和7年度を迎え、市内各校・園におかれましては、新たな教職員と子供たちを迎え、活気に満ちた新学期を送られていることと思います。新型コロナウイルスが5類感染症となり、平常の教育活動が学校に戻って、早くも2年の月日が流れようとしています。コロナ禍において、中止または縮小された教育活動は多々ありましたが、働き方改革も伴い、すべてをコロナ禍以前に戻すのではなく、教育的価値を鑑み、頭を悩ませながら教育活動の見直しを行ってきた、変革の2年間だったと思われます。本年度におきましても、学力向上、不登校支援、いじめ問題など、これまでに引き続き改革を推し進めていかなければならない喫緊の課題があります。これら学校における課題はここ数年同じもののようですが、その中身は時代とともに複雑化しており、永久的に解決できる「正解」は存在しません。ただ、「正解」のない中にも、学校の改革に必要な柱は三つと私は考えます。一つ目は「不易流行」です。時代が変化しても変わらないものを大切に守りつつ、社会や状況の変化に従って、変えていかなければならないものは積極的に変えるということをPDCAサイクルで繰り返し行っていく。特に流行においては、学校という枠に囚われすぎることなく、社会情勢を鑑み、地域や保護者も巻き込みながら、スピーディーかつ、斬新に行っていくこと。二つ目は、文部科学省でも重要視している、認知能力と非認知能力の育成です。点数として測ることができる認知能力に加え、子供たちの心の状態や社会性に関わる能力である非認知能力を育成し、困難な状況にも対応できる力、他人との協調性やコミュニケーション能力、社会との良好な関係を築く力をつけ、生涯にわたって学ぶ意欲を持たせること。三つ目は教職員が働き方を見直し、プライベートを大切にすることで、視野を広げ、心に余裕を持ち、人間性や創造性を高め効果的な教育活動を行い、教職員も子供たちも笑顔で毎日を過ごすことができること。と考えます。今後、さらにグローバル化が進み、変化が激しくなる社会で、新たな時代を切り開き、自身の力で幸せをつかみとれる子供たちを育成するために、井上教育長がいつもお話しされる「スケールメリット」を生かし、幼・小・中・高等学校が協力し合いながら、教育力を高める改革を行っていきましょう。

「魅力ある川口の教育の実現に向けて」

川口市立舟戸小学校 校長 駒崎 弘匡



令和7年度が始まり、子どもたちは新たな学年・学級での生活に胸を弾ませて元気に学校生活を送っていることと思います。川口市立小学校長会では、川口市教育大綱及び教育振興基本計画の理念である「一人ひとりが輝く、しなやかさとたくましさをそなえた人材を育てる川口の教育」の実現に努め、子どもたちが安心して学び、笑顔で過ごせる学校づくりを目指して、各学校が連携しながら活動を推進しています。

川口市教育振興基本計画(令和3年度～令和7年度)には、川口市の教育のめざすべき姿として、「いつの時代においても変わらない本質的なものは守りつつも、時代の変化に適応していくことが重要である」という不易流行の考えのもと、学校教育においては、引き続き学校の教育力と指導力の向上を図り、知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざします。さらに、社会の急激な変化を踏まえ、子どもたち一人ひとりが課題の解決に向けて粘り強く追究するたくましさを持ち、他者との対話を通じて多面的・多角的に物事を捉え、柔軟に考えを広げ深めることができるしなやかさを身に付けた子どもたちの育成をめざします。」と示されています。

近年、国際情勢の不安定化、グローバル化の進展、最先端技術の高速化、自然災害の激化等、社会の変化が加速度を増し、先行き不透明で予測困難な時代を迎えています。今後の社会を展望する上で、教育の果たす役割はますます重要になっています。このような中で、一人ひとりの子どもたちが自分のよさや可能性を認識するとともに、他者を尊重し、多様な人々と協働しながら、さまざまな社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓いていける力を身に付けられるようにしていかなければなりません。

川口市立小学校長会は、こうした課題を受け、定例会や専門部会、地区校長会等、脈々と継承してきた大切な取組を大事にしながら、子どもたちや教職員の幸せを真に願って、各学校間・各地区間で互いに情報共有や情報発信を積極的に行い、連携・協働していきたいと思っています。

「仲間とともに頑張りを楽しめる学校」を目指して

川口市立高等学校 校長 吉野 浩一



科学技術が大きく発展し、人工知能（ＡＩ）や人型ロボットの劇的な進化、医療や産業における技術の進歩には目を見張るものがあります。一方、止まない戦争や紛争、また、気候変動や人口問題、貧困、飢餓、エネルギー問題等、人類は大きな課題に直面しています。

教育は未来への投資と言われます。私も教育に携わる一人として、人類が直面する現在、そして未来の課題に伝えてくれる生徒が育ってほしいと願っています。一人では無理でも、仲間を見つけ協働することで何らかの解を探し出し、よりよい世界を創造してくれる誰かが現れることを心から期待しています。

川口市立高等学校は、お陰さまで８年目を迎えることができました。入試倍率や各種調査においても本校の人気は高く、常に県内の上位に位置しています。部活動やコンテスト、ボランティア活動などさまざまな分野ですばらしい結果を残しており、進路実績も毎年右肩上がりの状況で、校長としてもうれしい限りです。

昨年度着任し、本校生徒の一生懸命を楽しむ姿勢や元気な笑顔、明るいまえさつや感謝の言葉が学校全体の活力を高め、すばらしい成果を出し続けていると実感しています。そういった本校のすばらしさを支えてくれる生徒たちに心から感謝したいと思います。

入学式における式辞の中では、全日制では「学びに対して素直に取り組むこと」「考えることや想像すること」「自分の安心安全を心がけること」について触れ、定時制では「素直に学ぶこと」「自分の安心安全を心がけること」「仲間を大切にすること」の三点について触れ、私の校長としての期待を新入生に伝えました。

令和３年度開校の附属中学校から内部進学した中高一貫生も２年次となり、全日制の課程と定時制の課程に学ぶ全生徒１４８０名が、令和７年度をスタートさせ、新たな仲間と１月が過ぎました。

今年度も「校長の学校運営方針」６点と「校長が生徒に期待する行動指針」３点を掲げ、自分を高める視点として私が大切にしている「知・学・考・行」を示しつつ、仲間とともに一生懸命や頑張りを楽しめる生徒が育つ、そして、多くの中学生が憧れ、川口市民の自慢となるような学校づくりに努めたいと存じます。

引き続き、本校関係者のみならず、市民の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

「幼児教育のさらなる充実に向けて」

川口市立舟戸幼稚園 園長 須山 恵美子



令和７年度がスタートしました。

昨年度に引き続き川口市立幼稚園長会長を務めさせていただきます。本年度は川口市立幼稚園である舟戸幼稚園、南平幼稚園２園の総園児数は８３名です。

幼児期は、家庭において親しい人間関係を軸に営まれていた生活からより広い世界に目を向け始め、生活の場や他者との関係、周囲のものに対する興味や関心が一層広がり、自立への一歩を踏み出します。幼稚園はいろいろな遊びを通して、家庭だけでは体験できない社会・文化・自然などに触れ、教師に支えられながら幼児期の世界の豊かさに出会う大切な場です。そのために、文部科学省の示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」及び埼玉県教育委員会の「子育ての目安『３つのめばえ』」を起点として幼児の心身の発達に即した適切な指導に努めてまいります。

そこで２園では幼稚園教育研究協議会を組織し、保育実践事例をもとに研究協議を行うなど教員の資質向上に努めています。令和６年度は、「感じて 考えて 友達との関わりを楽しむ幼児の育成」を研究主題とし、幼児が主体的に遊びに関わり、幼児同士の関りを深めるための教師の援助の在り方について、実践的な研究に取り組みました。さらに、夏季研修会では、講師の方より「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を読み解く ～友達視点～」と題してご指導いただきました。３年保育を進める上での大きな指針となりました。

３年間の保育を経て、小学校に進学する折には幼稚園教育と小学校教育の滑らかな接続が図れるように、小学校の教員との意見交換や合同の研究会、保育や授業を見合うことで「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど今後も連携を進めていきます。

本年度も２園の教職員一同が次世代を担うたくましさとしなやかさをそなえた川口の子どもたちの育成のために幼児教育のさらなる充実に向けて邁進し、選ばれる魅力ある公立幼稚園を目指してまいります。川口市教育委員会をはじめとする関係者の皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

教育ルポ



川口市マスコット「きゅぼらん」

「第71回 全日本中学校通信陸上競技大会埼玉県大会川口市予選会」

期日：令和7年5月20日（火）21日（水） 場所：青木町公園総合運動場陸上競技場



快晴に恵まれ、令和7年度
第71回全日本中学校通信陸
上競技大会埼玉県大会川口市
予選会が開催されました。
生徒一人ひとりが、青木町公
園総合運動場で一生懸命記録
に挑戦する姿が輝いていまし
た。



令和7年度 川口市立学校(園) 研究テーマ一覧

小学校

本 町	自分の考えを深め、豊かに表現できる児童の育成 ～考えたい！伝えたい！脱！正解だけを求める授業～
幸 町	自己を見つめ、他者との関わりの中でよりよく生きようとする児童の育成 ～「考え、議論する」道徳授業の実践を通して～
仲 町	「児童・教職員にとって必要感のある校内研究」 ～一人ひとりの児童が主体的に学ぶために～
上 青 木	自分の思いや考えを豊かに表現し、いきいきと対話する児童の育成
元 郷	ねばり強く学ぶ児童の育成
飯 塚	進んで自分の考えや思いを伝え合う児童の育成 ～「伝えたい」「聞きたい」「広げたい」～
芝	「よく学ぶ子の育成」 ～特別活動を基盤に、教科特性を生かした指導の充実を目指して～
新 郷	主体的に学び合う児童の育成 ～一人一人に居場所のある学級づくりを通して～
神 根	学び合い、互いに高め合う児童の育成 ～学びの共同体の授業実践の充実を通して～
青 木 北	「青北GRIT」 ～自ら粘り強くチャレンジ～
領 家	自ら学びを発動させ、共に学びあう児童の育成
舟 戸	「学びをつなげ 夢をはぐくみ 未来を拓く 連携教育の推進」 ～多様性を尊重した関わりの中で主体的に学び続ける子どもたちの育成を目指して～
十二月田	自ら考え、他者と共によりよく生きる しわすだっ子の育成 ～自己指導能力の育成を目指して～
飯 仲	主体的に学び、自分の考えを伝え合う児童の育成
並 木	児童がお互いに認め合い、高め合う指導法の研究 ～健全な自己肯定感を育む教育を通して～
安 行	見つけ 広げ 深める算数科の授業実践 ～よさを認め、学び合い高め合う児童の育成～
原 町	自ら学び、共に学び合う児童の育成 ～児童自身が自分を理解し、変容・成長できるとともに、児童理解を深めた学級・学年経営で支える学びの土台づくり～
前 川	児童が望ましい人間関係を形成するための支援と指導の在り方
戸 塚	主体的に学び、共に高めあう児童の育成 児童の思考でながれる授業 児童の思考がつながる授業
青木中央	自ら考え、進んでかわらうとする児童の育成 ～Well beingを目指す非認知能力の育成～
元 郷 南	主体的に自信をもって学び合う子供の育成 小学校教科担任制における学級経営の在り方
芝 西	主体的に運動し、「元気」「笑顔」「やる気」に満ちあふれる芝西っ子の育成 ～「できた！」「楽しい！」を味わわせる芝西スタイルの体育授業～
芝 南	確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ児童の育成
神 根 東	自分の考えをもち、聴き合いながら学ぶ児童の育成
朝 日 東	知徳体の調和のとれた児童の育成 ～教科担任制による指導・支援がもたらす、誰一人取り残さない教育の実現～
芝 富士	GRITを伸ばす教育
前 川 東	自他の良さを認め合い、互いに高め合える児童の育成 ～道徳・特別活動を軸とした非認知能力の育成～
柳 崎	『いきいき学び合う子の育成』 ～多様な関わりを通して、一人一人の学びを大切に授業づくり～
芝 樋ノ爪	主体的・対話的で深い学びの創造
新 郷 南	主体的・対話的で深い学び ～学び合いを通した基礎・基本の定着～
上 青木南	主体的に学びをつくることのできる児童の育成 ～「やってみたい！伝えたい！もっと知りたい！」を引き出し、『できた』を感じる学習活動の工夫～
根 岸	児童の学び合いを深める授業の探究 ～学びの共同体の実践～
芝 中央	学力向上の研究 ～どの子にも「わかる」「できる」「楽しい」が感じられる授業の創造～
新 郷 東	「友だちと学び合いながら、チャレンジしようとする児童の育成」 ～ 非認知能力の育成を中心に学力の向上を目指して ～
朝 日 西	共に学び合い、生き生きと主体的に学習する児童の育成 ～楽しく基礎基本を身に付け、「できる！」「わかる！」を基に自分で考える算数を目指して～
慈 林	多様な考えを認め合う児童を育む道徳教育をめざして
差 間	自ら学ぶ児童の育成 わかった・できた・つかえるが実感できる授業の創造
東 本 郷	個別最適な学びと協働的な学びを通して、「わかった！」「できた！」が実感できる授業の創造 ～数と計算領域においてつまずきに焦点をあてて～
東 領 家	「主体的に学習に取り組み、やり抜こうとする児童の育成」 ～思いやり、考える学友活動の工夫を通して～
安 行 東	自尊感情を育む学級経営の工夫 ～対話的な学びの見取りを通して～
在 家	共に学び合い 確かな学力を身に付ける児童の育成
戸 塚 東	算数科における確かな学力に繋がる 個別最適な学び・協働的な学びの実現に向けて
戸 塚 北	主体的に学習に取り組み、学び合う児童の育成
木 曾 呂	基礎的・基本的な内容の定着 「主体的・対話的に学び、考えを深めていく子」の育成 ～学び合い・ICT活用を通して～

戸塚綾瀬	自分の考えを適切な言葉で表現できる児童の育成
戸 塚 南	児童の体力向上を図るための指導と環境の工夫 ～体育の特性を生かし、主体的に判断して行動する力を育む指導～
鳩 ケ 谷	義務教育9年間の小中一貫教育 切れ目のない継続した教育活動と指導体制
中 居	自分の考えをもち、表現できる児童の育成
辻	「伝え合う楽しさを味わえる授業づくり」 ～表現する力を育む国語科の授業～
里	粘り強く学び続ける児童の育成 ～試行錯誤できる学習過程の工夫を通して～
桜 町	義務教育9年間の小中一貫教育 切れ目のない継続した教育活動と指導体制
南鳩ヶ谷	主体的に学び合う児童の育成 ～算数での学び合いを通して～

中学校

東	確かな学力の育成～聞いて実践する力の向上～
西	「不登校、いじめの未然防止、支援率・支援継続率100%を目指す学級・学年経営」
南	「学びをつなげ 夢をはぐくみ 未来を拓く 連携教育の推進」 ～多様性を尊重した関わりの中で主体的に学び続ける子どもたちの育成を目指して～
北	学びの共同体の構想と実践～探究と協同の学びの創造～
青 木	生徒の学力向上と不登校支援の充実
芝	端末を有効活用した個別最適な学びと協働的な学びの 一体的な充実を図る授業の創造
元 郷	「学力向上に結びつく学習活動の工夫」 ～待つ姿勢と粘り強い丁寧指導～
上 青 木	真の生徒理解と授業力向上 ～生徒指導・教育相談の推進と学力向上の関係～
幸 並	生徒一人ひとりの学びの充実を目指して ～個別最適で協働的な学びの推進～
十二月田	誰もがわかる・できる授業 生徒の目線で教え、考える授業の実践 ～「確かな学力」に繋げる基礎基本の定着～
仲 町	『さらなる多文化共生の実現に向けて』
安 行	生徒の力を伸ばし、生きる力を育成する授業を目指して
芝 東	生徒が安心して学べる授業の実践 ～授業規律の構築と指示・発問の工夫～
芝 西	「学びに向かう力に焦点を当てた授業改善」 ～生徒が夢中になって活動に取り組む授業～
芝 西 陽春分校	学びに向かう力に焦点を当てた授業改善 ～生徒が夢中になって活動に取り組む授業～
岸 川	深い生徒理解に基づく個別最適な指導の実現
榛 松	社会の中でよりよく生きる力の育成 ～「自主性」・「協調性」・「実行性」のある活動を通して～
小 谷 場	「個別支援が必要な生徒へのチーム小谷場としての実践」
神 根	自他共に認め合い、高め合う生徒の育成 ～主体的な学び合いを通して～
領 家	伝え合い、認め合い、高め合う生徒の育成 (一人一人が互いに支援し合う関係の充実)
戸 塚	「社会で生きて働く力の育成～非認知能力の向上を通じて～」
在 家	「主体的・対話的で深い学びの実践」 ～共に学び合い伝え合う授業づくりを通して～」
安 行 東	「自ら課題を発見し、主体的・対話的に学ぶ生徒の育成」
戸 塚 西	「自分で考え、正しく判断し、自分らしく表現することができる生徒の育成」 ～確かな学力、人生を豊かにする非認知能力の育成～
鳩 ケ 谷	義務教育9か年の小中一貫教育 ～切れ目ない継続した教育活動と指導体制～
八 幡 木	生き生きと輝く対話を生み出す道徳授業 ～「本質的な問い」のある授業を通して～
里	1人1台端末を活用した授業の質的な向上 ～確かな学力の育成を目指して～
川口市立 高校附属	「未来を創る しなやかでたくましい人材の育成」 ～特色ある教育課程による中高一貫教育の研究～

高等学校

川口市立 高 校	「主体的・対話的で深い学びを実現する授業実践」の研究 ～ICT・AIを活用した授業の開発～
川口市立高校 (定 時 制)	「生徒の進路実現に向けたキャリア教育」の研究

幼稚園

舟 戸	「学びをつなげ 夢をはぐくみ 未来を拓く 連携教育の推進」 ～多様性を尊重した関わりの中で主体的に学び続ける子どもたちの育成を目指して～
南 平	～友達と過ごす楽しさを味わい、友達との関わりを深める～(協同性)